

おおいしだ

議会だより

No. 142

2014/10.25

山形県大石田町ホームページ
http://www.town.oishida.yamagata.jp



秋 笑顔いっぱい (大石田保育園運動会)

第3回定例会

9/3~12

第3回臨時会

7/17

米価大暴落 国に対策を求める P2

平成25年度 決算 町民1人あたり87万円を支出 P4

補正予算 条例の審議 白鷺線開通は来春予定 P10

町の考えを問う 5議員が一般質問 P12

発行/山形県大石田町議会

発行責任者/議長

星川

久

編集/広報常任委員会・〒992-4112 大石田町緑町一番地

☎0237(35)2111

◆印刷

(有)印刷文化堂

友好交流協定を結んだ

わく や 涌谷町の福祉に学ぶ



驚きの町民医療福祉センター

昨年9月友好交流協定を結んだ涌谷町と交流を深めようと7月30日全議員が訪れました。涌谷町の起こりは「涌矢」で、矢が涌く意に起因し、後に涌谷と転称したと伝えられ、日本で初めて金が産出し、奈良の東大寺大仏建立の際にこの金を献上した歴史ある町です。

現在の涌谷町は大石田町とほぼ同じ面積(82キロ平方メートル)に人口1万7千人が住む平坦地の多い穏やかな町ですが、町が抱える問題は少子・高齢化など共通の課題も多く議員同士で活発な意見交換を行い交流を深めました。

特に町が進める「健康と福祉の丘のある町づくり事業」を研修し驚いてきました。町民一人ひとりが「安らかに生まれ」「安らかに育ち」「朗らかに働き」「和やかに老いる」ことを通してかけがえのない人生を送ることを目標に掲げ、診療科目は12科、121床の病院を始め、老人介護施設80床、更に町の健康福祉課を配置する「町民医療福祉センター」を町直営で運営し、医師10名、看護師80名、介護福祉士31名、事務職員29名など総勢245名が勤める大施設でした。病気の大部分は生活習慣病から造られることを理解し自ら食事、運動、休養に気を配ろう。「自らの健康は自らがつくる」「家族は役割を分かち合う」「地域は手を取り合う」ことの重要性を徹底的に指導する姿を目の当たりにし「目からウロコ」が連続する感動の一日でした。(記 小林)

議会を傍聴しませんか

◆次回の定例会は
12月4日(木)~10日(水)
までの予定です。

お気軽においでください。(議場は役場3階です)

お問い合わせ先 大石田町議会事務局
電話 35-2111(内線312) FAX 35-2118



青木久子議員逝去

町議会議員 青木久子氏 64歳 駒籠が9月11日、逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

全国的に雨が多く、大規模な土砂災害が起き、自然災害の恐ろしさをまざまざと思い知らされました。洪水で最上川は警戒水位を超えましたが、町に大きな被害が起きず良かったと思えました。一方、町の基幹産業である農業では、米の仮払金が大幅に下落しました。米の値段を市場原理任せにし、民間在庫が大幅に残れば、当然米価は下がります。これは国民の主食を食糧不安に陥れる政治災害ではないかという気がします。町の基幹産業の根幹が揺らげば、税収が減り町の経済にも大打撃です。政治は国民・町民に何が出来るかが問われています。(記 遠藤)

- ◆広報常任委員会◆
- 委員長 小林 征雄
- 副委員長 村形 昌一
- 委員 村岡 藤弥
- 委員 遠藤 宏司
- 委員 芳賀 清